

えひめ 地域づくり協働体通信

春の気配を感じる季節となりました。

第2号では大洲市^{とよしげ}豊茂地区、久万高原町^{にみょう}二名地区、松野町^{むらびお}蕨生・奥野川^{おくのかわ}地区で始まった新しい活動を紹介し、皆さまの活動の参考にしていただければ幸いです。



大洲市^{とよしげ}豊茂地区

キーワード：買物・生活支援、学校舎利用、地域産品開発



ミニスーパー外観



地区の皆さんが作った惣菜

●地区のライフラインを守る

豊茂地区は、地区にある個人経営の店が撤退することになり、高齢者の買物が不便になることから自治会に「購買部」を設け、食料品、日用品、雑貨などを扱う「ミニスーパー豊茂」を運営しています。また、スーパーに来られない高齢者のために、地区のボランティアが作った「惣菜」などの食料品、日用品を移動車で販売しています。そして「お元気ですか？」と声を掛けながら高齢者の体調確認を合わせて行っています。最初は買物弱者対策としてスタートしましたが、引き続き、店の運営を安定させるとともに、食料品、日用品の販売だけでなく地区の皆さんのおしゃべりやふれあいの場として充実させていきたいと頑張っています。

注) 詳細は「舞たうん」121号にも掲載しています。

●地域の特産品を開発

平成24年3月末閉校となった豊茂小学校の教室として使っていた一室を改修して調理台などを設置しました。そして地域の農産物を加工し、特産品の開発を目指した活動が始まりました。どのような特産品ができるか楽しみです。



旧豊茂小学校



地区で採れた農産物を調理



談笑しながらの移住希望者のニーズ調査

●都会から移住者を呼び込む活動

1月18日、東京ビックサイトで開催された「JOIN 移住フェア」に、久万高原町二名地区から6名の皆さんが参加しました。移住を検討している来場者に積極的に声を掛けながら、移住者が求めるニーズをアンケート調査しました。そして持参した二名米をお礼に渡しなが、二名の魅力をPRしました。また「地域おこし協力隊」志望者のニーズ、受け入れ側である市町・地域の体制づくりについても調査し、二名地区への移住促進や受け入れ体制について検討していきます。

注) 地域おこし協力隊：詳細は総務省ホームページ参照

●地区の連携・協働について検討

隣接する蕨生地区、奥野川地区の皆さんが一同に集まり、地域資源、そしてともに抱える地域の課題、これからの目指す地域像について話し合いました。人口減、高齢化により地域防災について不安視する意見などに対し、両地区が連携していくことの必要性、また特産品の共同開発の可能性について意見交換を行いました。これから地区単独で行うことが難しくなる活動について、協働しながらともに助け合っていくことの重要性を確認しました。



地域の課題などについて発表しました



この情報誌の関係サイトについて

- 「えひめ地域づくり協働体」 facebook
- 地域おこし協力隊 総務省ホームページ <http://www.iju-join.jp/chiikiokoshi/>
- 公益財団法人 えひめ地域政策研究センター
舞たうん 121号 <http://www.ecpr.or.jp/products/products-my-town/>